

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	プロダクトデザイン	2	3	デザイン	必修	自作教材

1. 学習の到達目標

プロダクトデザインでは工業製品のモデルを作ること 학습합니다。工業製品とは工場で大量生産できるものを言いますが、生産に入るためにはその商品の元となるモデルが必要です。この科目は2, 3年の2年間で学習しますが、3年次は社会生活に適應した、より使いやすい製品を身近なものとして考えてもらうために、アイデアから図面作成、モックアップモデル制作に至るまでを学習します。完成に至るまでの行程も計画性を持ち、必要な道具や必要な素材を用いての総合的な造形力も身につける。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	制作に関する技術に関心を持ち、生活の改善・向上を目指し、創造的、実践的態도를養う。	制作に関する技術およびその用途に関する問題を広い視野から考え、その解決策を適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	環境に適應した製品を作り出すために製品に関する基礎的な技能・技術を身につけ、計画性のある処理能力と表現能力を身につけている。	あらゆる生活の中においてプロダクトデザインが果たすべき役割について学習し、その必要性について理解している。
評価の方法	出席状況 授業態度 作業能力 計画性 (アイデア→図面制作→作品制作) 提出期限などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

工業製品(立体物)をより身近に感じてほしいと思います。基本 基準となる形状の美しさや加工技術など大切さを知ることは他の作品制作にも繋がるものがあります。

石膏、木材、粘土など様々な素材を使って作品制作をします。立体物の制作は計画性が必要ですので、計画的に製作するように心がけて受講して下さい。

3年 プロダクトデザイン 年間指導計画表

単位数（2単位） 教科書：自作教材

目 標	社会生活に適応した、より使いやすい製品のアイデアを考え、それらのモデルを制作します。誰もが使いやすく、色彩や形状が美しい製品開発を目指します。		
月	大 項 目	中 項 目	時 数
4	生物をモチーフとした 立体デザインの演習	1. アイデアスケッチ（形態のデフォルメ） 2. 図面作成 3. 素材を用いた成型作業・仕上げ作業 4. 合評会	45
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11	工業製品のモックアップ モデル制作	1. アイデアスケッチ（形態のデフォルメ） 2. 図面作成 3. 素材を用いた成型作業・仕上げ作業 4. 合評会	
1			
2			
3			